

SMF 宝 船 展 2018 “夢のタネを語る、表す、つなぐ”

Name 作家名： 『加藤こどもの造形教室』(25人合作) 指導 加藤典子

Title 作品タイトル： 出品リスト No.4 「名前立国」

Year of realization 実現年： 2016年 制作  
(さいたまトリエンナーレ2016 『市民プロジェクト』 参加作品)

Description 作品についての記述：

「人の名前は人生へ託す夢」

私たちは自分の名前を自らつけることは出来ない。名前は、将来へ託す夢や願いが込められた、子どもへの最初の贈り物のようだ。

そうやって知らずにつけられた名前を、私たちは物心ついた頃によく意識し始める。

愛称で呼ばれるのもつかの間、やがて名前は答案用紙に記入するばかりの時期を経て、いつしか私たちは「自分の名前」なんかに、かまけていられないほどの現実社会に巻き込まれていく。

名前は単なる識別記号と化し、その意味を深くさぐるひまもなく、それぞれの人生をひた走ることになる。

ようやく立ち止まる気持ちが訪れた時、長く人生とともにあった「自分の名前」の意味に思い至る。託されたことは何だったのかを噛みしめてみる。すると…

図らずも、自分の名前につながるような生き方をして来たような気持ちになる。それは名前に支配されたという訳ではなく、託された夢と、込められた愛に自分なりに報いた生き方であった、と思いたいがため、の意味付けなのだろうか…。

そのような考えを踏まえつつ、造形教室のみんなでこの作品を制作した。小学1年生から6年生までの子どもたちが自分の名前の意味をきっかけとしてそれぞれがその時に持てる力で考えながら、造形表現で小さな国を作った。

これらを切頂二十面体(サッカーボールの形)の一つ一つの面に貼り付けて小さな惑星のように。タイトルは「名前立国」。  
長い月日を子どもの造形表現とともにとぼとぼと歩みながら豊かな造形惑星を夢見るものとして、これは一つのモニュメントとも言えるのかも知れない。



一村未羽



江連拓海



一村比呂



新村 陸



高橋美輝



山田福太郎



深井俊輔



山田桜一郎



安藤 権



吉野翔太



星野光太



古厩友翔



矢澤心美



猪俣空土



大園美奈



大谷悠斗



古川かえで



青柳佳怜



富山知子



鈴木星美



伊月 奏



安彦真里



千田凧花



吉木孝英



早野柚葉